

報道関係者各位



2023年10月5日
株式会社 farmo(ファーム)

スマート農業 (株)ファーム
畑を写すことに特化した、リモート撮影ができるカメラを開発

IoTで農業課題に取り組む株式会社 farmo(本社：栃木県宇都宮市上欠町 866-1、代表取締役：永井洋志/以下当社)は、離れた農地や河川などのネット環境が無い自然環境下でも、リモート撮影ができるカメラ「フィールドショット/以下フィールドショット」を開発致しました。当社の通信インフラに対応しており、さらに、ソーラーパネルが一体型でコンパクトサイズなのに省電力で動くのが特徴です。

これによって、ネット環境が無い場所においても利用できるようになり、月額負担もありません。畑に支柱を挿し、フィールドショットを固定するだけで簡単に設置してお使いいただけます。



<現場に設置しているイメージ>

開発背景

営農指導担当者が離れた畑の生育状況を確認しながら営農指導を行うのにあたり、現場に行かないと生育状況が分からず労働力の面で課題になっていると相談がありました。また、自治体や地方団体からは、近年の気候変動の影響による結果として、災害級の大雨が降ることが増加し、街に流れる河川管理をしている担当者が、洪水を防ぐため水門を開けるため、直接現場に行き対応に追われていました。非常時という危険な状況下において、現場の状況も分からずに担当者が直接行かなければならない危険性や、複数ある水門のポイントを見回すための負担を減らしたいとの相談も寄せられていました。

以上の相談に共通する点を整理した結果、コストを抑えつつ多くの場所に設置でき、任意のタイミングで見たいという事が求められており、ネット環境が無い場所にも対応する必要性を感じました。

そこで当社は、現場でのニーズにお応えする形で、電源やネット環境が無いような場所にも設置出来て、必要な機能だけに絞り畑を写すことに特化したリモートで撮影ができるカメラ「フィールドショット」を開発するに至りました。

畑の撮影に特化していることが特長

フィールドショットは、高機能・高性能なカメラではなく、ユーザーファーストに必要な機能だけを搭載している所がポイントです。使い方は手持ちのスマートフォンから遠隔でカメラのシャッターが押し、ユーザーが任意のタイミングで写真撮影ができます。

また、ファーモ独自の通信インフラ(以下/ファーモアンテナ)に対応しているので、Wi-Fiなどのネット環境も要らず、製品が届いてすぐに利用できます。

— 特徴 —

他社で提供しているカメラでは専用のブラケットを壁などに固定するために設置工事や電源のとれる環境に設置しなければならず、業者による電源工事の必要があり、フィールドショットでは、監視したい場所に支柱を挿して固定するだけで設置できます。また、製品はソーラーが一体型なのに両手に載るサイズです。省電力設計で、バッテリーも内蔵しているため、電池が切れる度に電池交換をしに行く手間がかかりません。市場に流通している製品では、クラウド使用料などの月額費用が発生しますが、フィールドショットは月額費用がかからずにお使いいただけます。フィールドショット購入時にクラウドへ写真データが保存できる容量は最大 100MB で、その後は 100MB 毎に課金しながら容量を増やしてお使いいただけます。

スマート農業 (株)farmo

販売予定価格は 79,200 円(税込)で、購入から 1 年間の無料補償付きです。また GPS を搭載しているので設置した場所が分かり、屋外に設置しても安心してご利用いただけます。初年度は 1000 台の販売を予定しており、2023 年 11 月中旬に発売を開始致します。なお、現在特許の出願中です。

第 13 回農業 WEEK で展示し、初公開

2023 年 10 月 11 日(水)～10 月 13 日(金)にかけて 3 日間行われる『第 13 回農業 WEEK』にご来場いただき、実際に手に取って動く様子をご覧ください。

参考資料

《参考 1》データが見られる仕組みについて



《参考 2》全国に設置されているファームアンテナの状況



<当社製品 HP より : https://farmo.tech/gw_map/>

《参考3》第13回農業WEEKのご案内

■開催日時

- ① 2023年10月11日(水) 10:00～17:00
- ② 2023年10月12日(木) 10:00～17:00
- ③ 2023年10月13日(金) 10:00～17:00

■会場 幕張メッセ

スマート農業 EXPO (8ホール)

小間番号 : 1-32

■ご招待券

<https://www.agriexpo-week.jp/tokyo/ja-jp/visit/e-ticket-ex/jgep/aw.html?co=pd13261>

上記の「e-招待券」をご利用いただくと、印刷せずお手持ちのスマートフォンでQRコードをかざしてスマートに入場いただけます。(印刷も可。)

入場料も無料です。(当日は、あわせて名刺をご用意ください)

※招待券をお持ちでない方は、お一人につき5,000円がかかります。

《参考 4》 会社概要

2005 年に、ウェブサービスを開発する会社として栃木県宇都宮市に株式会社ぶらんこを設立。2015 年宇都宮市役所から夏イチゴを栽培する農家を紹介され、ハウス内の気温などを スマホで見られる IoT 製品とアプリを提供。これがきっかけとなり、ハウスファームが誕生した。「ハウスに行かなくてもハウスの様子が分かる」と農家さんに好評を得る。別の相談も寄せられ、「水田の水管理をラクにするアイディアはないか」と相談を受け、水管理の自動化をするシステムを提供。そして、農家とコミュニケーションを取る中で日本の農業課題の大きさを再認識し、農業専門の IT 企業として 2016 年業態を変更した。その後、ファームがヒット商品となり、2021 年 3 月に製品ブランド名を採用し、株式会社 farmo に社名を変更。現在は、農業の課題解決から始まり環境や地域課題の解決まで取り組んでいる。

- 代表者：代表取締役 永井 洋志
- 本店所在地：栃木県宇都宮市上欠町 866-1
- 設立：2005 年 11 月 1 日
- 資本金：1 億円(資本準備金：2 億 4160 万円)
- 経営理念：知恵と技術と心で人を幸せにする企業 地域や人々のため、常識にとらわれず考え抜く知恵と、能力を高め価値を創造する技術 と、困っている人たちを救おうとする強い心で人を幸せにする企業を目指します。
- 主な事業内容：農業用 IoT 製品・サービスの開発・販売

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 farmo 広報担当 小平 真李

TEL：028-649-1740 FAX：028-649-1741 PHONE：070-4406-2777

MAIL：kodaira@farmo.co.jp